

子育て支援に関する 市民アンケート

ぜひ、ご協力
ください

いま川崎市では、他都市より遅れた子育て施策（保育園待機率が政令市ワースト1位など）が大きな問題になっています。

乳幼児や小・中学生などの子育て真っ最中の父母のみなさん、将来こどもを産み育てた

いと考えているみなさん、子育ての時期を終えた中高年のみなさん等々、幅広く市民のみなさんの意見・要望・経験をうかがい、議会活動と市政に生かしたいと考えております。ぜひ、アンケートにご協力ください。



該当するものに、○をしてください

あなたの年齢は	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70才以上	性別	男・女
お住まいは	川崎区・幸区・中原区・高津区・宮前区・多摩区・麻生区		
お子さんがいる場合	何人ですか <input type="text" value="人"/>	おいくつですか <input type="text" value="才"/>	<input type="text" value="才"/>

Q.1 子育て支援策、子どもの問題で関心のあるものは？

以下の中から選び、○をしてください（複数回答可）

- (ア) 保育園不足と待機児問題 (イ) 保育園の保育料・保育内容 (ウ) 私立幼稚園の保育料補助
- (エ) 幼稚園不足 (オ) 小児医療費助成 (カ) 小児救急医療 (キ) 児童手当 (ク) 出産費用補助
- (ケ) 女性の就職支援 (コ) 学童保育 (サ) わくわくプラザ (シ) 公園・遊び場 (ス) 少人数学級
- (セ) 教育費の父母負担 (ソ) 中学校給食 (タ) 通学等こどもの安全対策 (チ) 就学援助制度
- (ツ) 食べ物の安全 (テ) 不登校・いじめ等学校生活 (ト) こどもの受験・進路・就職
- (ナ) その他 ()

Q.2 特に力を入れてほしい子育て施策は？

「こんな施策に力を入れてくれたら、もっと子育てがしやすい」ということなど新しいアイデアも含め、ご意見・ご要望があれば、お書きください。

▶よろしければ
ご記入ください

氏名	電話	FAX
	住所	

送り先

FAX 044-245-4140 日本共産党川崎市議員団
メール info@jcp-kawasaki.gr.jp

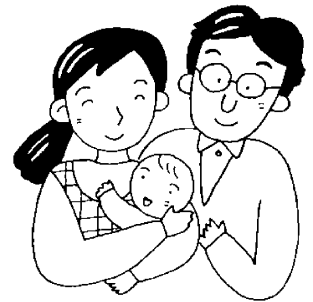
*FAXの場合、この用紙に書き込み、このまま送信していただければ届きます。

子育てや子どもの問題など、いまの政治や 川崎市政に言いたい…わたしの思い

子育て安心の川崎へ 日本共産党の提案は…

- 就学前までの小児医療費助成制度の所得制限をなくし、さらに中学生まで順次対象年齢を引き上げる。
- 保育園の待機児童を解消するような緊急増設計画をつくる。
- 私立幼稚園の保育料補助を他都市並みに大幅増額する。(東京大田区では入園料補助が約10万円、保育料補助が年約13万円です)
- 妊娠・出産費用を軽減するための「出産一時金制度」を創設する。
- 「わくわくプラザ」の改善・安全対策をすすめ、学童保育を復活する。

- 小学校低学年から「30人学級」を実施する。
- 全額自己負担の中学校ランチサービスを改め、市の公費負担のある「中学校給食」を実現する。



財源はあります

川崎市の予算規模は一般会計だけで年約5千億円。その数%の使い方を変えるだけで、市民のねがいにこたえる財源は生み出せます。

“1メートル1億円”の高速縦貫道、羽田空港「神奈川口構想」、ビジネスホテル建設など、不要不急の大規模開発をやめれば、子育て支援を充実する財源は十分にあります。